

事業番号	16 01 18	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	科学捜査力充実事業				担当課	部局	警察本部
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	鑑識課・科学捜査研究所		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保		E-mail	police-kanshiki@pref.nagano.lg.jp		
		1 犯罪のない安全な社会づくり		実施期間	S29 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	科学捜査資機材の整備・充実に伴い、鑑定業務や鑑識活動の効率化を図り、巧妙化・広域化・スピード化する犯罪に迅速かつ的確に対処して、犯罪の早期解決を図るとともに、収集した証拠の綿密な分析による事件立証を行い、県民が安全に暮らすことができる社会の実現を目指す。
------	---

現状 (予算編成時)	裁判員裁判制度の定着化、犯罪死見逃し防止のための死因究明制度など捜査を取り巻く環境の変化により、客観証拠を重視した捜査の確立が求められ、時代の要請に応じた最先端のインフラ面の整備による科学捜査力の強化、整備が急務となっている。
------------	---

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) <b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法 県民との協働による実施: 実施は困難 刑法、刑事訴訟法、犯罪捜査規範
----------	--

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)					
	<input type="checkbox"/> 県民が不安を感じる重要犯罪 (殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ) の検挙率向上 (70%) <input type="checkbox"/> 適正な鑑定業務による誤鑑定の絶無					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H27事業実績		
				H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
		1. 鑑定・検査用試薬等消耗品	直接	・DNA型鑑定試薬、指紋情報管理システム等消耗品	17,066	16,916
	2. 各種鑑定用機器部品交換	直接	・鑑定用機器の部品交換	1,067	893	1,248
	3. 各種鑑定用機器保守等	直接	・鑑定用機器の保守点検	8,114	6,813	9,477
	4. 各種鑑定用機器のリース等	直接	・鑑定用機器のリース料、鑑定機器の整備	86,382	85,504	83,346
	5. 各種学会負担金	直接	・鑑定技術向上のための各種学会への参加	166	166	173
			合計	112,795	110,292	112,521

事業コスト	区分(単位:千円)						
	予算額	前年度繰越					
		当初予算	109,147	111,231	112,795	112,521	
		補正予算					
		合計(A)	109,147	111,231	112,795	112,521	
	Aの財源	一般財源	109,147	111,231	112,795	112,521	
		県債					
		国庫支出金					
		その他	0	0	0	0	
	決算額(B)	107,941	108,632	110,292			
概算人件費	職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01		
	概算人件費(C)	83	83	83	83		
概算事業費(B(A)+C)	108,024	108,715	110,375	112,604			

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
重要犯罪検挙率	65.9%	70%	70.6%	達成	-
誤鑑定の絶無	0件	0件	0件	達成	-
DNA型鑑定実施率	-	-	-	-	80%

目標に対する成果の状況	平成27年は、長野市中越における殺人・死体遺棄事件、飯田市上殿岡における拳銃使用による殺人事件、軽井沢町長倉における殺人事件、上田市塩川における傷害・強盗事件、松本市里山辺における持凶器殺人未遂事件等、県下で発生した多くの犯罪検挙に貢献し、重要犯罪検挙率70%を達成した。 また適切な鑑定機器の管理と使用及び鑑定資料の管理に努め、誤鑑定は皆無であった。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 科学技術や情報化の進展等に伴う高度化・複雑化した犯罪に対応し、犯罪検挙力を強化するためには、客観証拠による的確な立証が必要である。事件発生後の初動段階から高度な科学技術を活かし、迅速かつ的確な客観証拠収集と適正な鑑定を実施するため、今後も鑑定機器・鑑定用消耗品の整備及び証拠収集・鑑定技術の研鑽等、科学捜査力を充実する必要がある。
-----------------	--